

会 議 録

《会議名称》 令和6年度 第1回岸和田市景観審議会 《開催日時》 令和6年6月6日(木)15:00～16:45 《開催場所》 岸和田市役所 新館4階 第2委員会室										承認			
										会長	上野委員	岡田委員	
										6/21	6/26	6/27	
《出席者》（景観審議会委員出欠状況）													
上野委員	岡田委員	齊藤委員	高木委員	竹田委員	田中委員	谷川委員	所委員	中野委員	永野委員	星乃委員	松尾委員	宮川委員	山本委員
○	●	×	●	×	○	○	○	●	○	×	○	×	●
(委員14名中、10名出席) (●はリモート参加)													
岸和田市) 岸副市長、奥野まちづくり推進部長 事務局) 都市計画課 越智、森田、忠野、西出、松尾、大北 傍聴者) なし													
《概要》 ■副市長あいさつ、委員自己紹介 ■会長、副会長の選出 ■審議案件 1. 岸和田市景観審査小委員会の設置について ■報告事項 1. 現景観計画の検証・評価、改定の必要性の検討について 2. 景観施策の取り組みについて 3. 令和6年度年間スケジュールについて													
《内 容》 ■開会 ・14名中10名の委員出席を確認。 岸和田市景観審議会規則第6条第2項の規程により審議会の成立を確認。 ・傍聴状況報告。 ■挨拶 ・岸副市長挨拶 ■紹介 ・委員の自己紹介 ・事務局の紹介 ■会長・副会長の選出、挨拶 ・会長に田中委員、副会長に所委員・中野委員が選出され、承認される。 ■会議録確認者の指名 ・令和6年度第1回景観審議会の会議録確認者として上野委員と岡田委員の2名を指名し、承認される。 ■議案第1号「岸和田市景観審査小委員会の設置について」 岸和田市景観審査小委員会の設置について、事務局より説明。 岸和田市景観審査小委員会委員名簿(案)配布 景観審査小委員会委員：高木委員、竹田委員、田中委員、中野委員、山本委員 【質疑応答】 (委 員) ・小委員会は常設で委員を決めるのか、あるいは案件が出る度に委員を指名するのか。 (事務局) ・常設の委員会として予め5名の委員を選出し、案件が出た際にご参集いただく。 (会 長) ・岸和田市景観審査小委員会委員は、会長が指名することとなっており、予めご本人に内諾をいただいている。委員名簿案の通り承認してほしいか。													

(委 員) ・ (一同) 了承。

■報告第1号「現景観計画の検証・評価、改定の必要性の検討について」

現景観計画の検証・評価、改定の必要性の検討について、事務局より説明。

【質疑応答】

(委 員) ・ 景観計画改定までのスケジュール案は3年間とのことだが、今年度の「計画改定の枠組み整理」を審議会でもどのように検討する予定か、イメージがあれば教えてほしい。

(事務局) ・ 資料2-1のとおり、今年度は「現行計画の検証・評価」から「計画改定の枠組み整理」まで行う予定。先ほど説明した資料内容等の調査・分析を進め、現景観計画と異なる部分がないか、また、今後の本市の都市整備や総合計画・都市計画マスタープラン等の将来的な計画において新たな景観配慮の必要性など評価・検証し、景観計画のどの部分を変更するのかという計画改定の方針性を今年度最後の本審議会にてご審議いただこうと考えている。

(委 員) ・ 資料2-3の「景観形成の基本的姿勢」の「つくりだす(創生)」という項目について、岸和田市の中期計画として考えているビジョンがあれば教えてほしい。

(事務局) ・ 「つくりだす」という部分では、例えば、新しく事業化されるエリアにおいては、景観に関する配慮事項を守っていただけるよう、大規模建築物等の届出や地域の景観に関するガイドライン・指針等を用いて、より良い景観をつくりだしていただこうと考えている。

(委 員) ・ 日本も今までの工業立国から観光立国をめざそうとしており、岸和田市としても今回の万博などで観光客が近くまで来るわけで、景観部局か観光部局かわからないが、岸和田市として、まちづくりで若い人や観光客を呼び込み活性化を図る必要があると思う。そういった点も含めて、「つくりだす」ことを検討いただきたい。

(事務局) ・ 景観的な面だけでなく観光的な面もこれからのまちづくりや人を誘致する中では大切なことと思う。「つくりだす」ということではないかもしれないが、これまで行ってきた「ここに残る景観資源発掘プロジェクト」など岸和田の素敵な景観資源を市民だけでなく市外の方にもPRしていける機会を観光部局等とも一緒に考えていければと思う。

(委 員) ・ 景観計画の「まもる・はぐくむ・つくりだす」を実現していく方法として、例えば、都市景観賞の対象は建築物や工作物が中心と思うが、まちづくり活動を表彰することなど可能か、そのような取組みがあればお聞きしたい。

(事務局) ・ 都市景観賞に関してはこれまで6回行っており、「大規模建築物等届出部門」と「一般公募部門」の2部門で構成している。一般公募部門については、規模や自薦他薦を問わず応募可能。また、過去の都市景観賞において、まちづくりに関する景観市民団体の取り組みを表彰させていただいた事例もあったが、活動事例があまりなく募集が難しい。こういった点についての取組みは今後考える必要があると思う。

(委 員) ・ 市民の景観に対する意識も高まってきており、そういう取組みも検討して良いかと思った。また、資料2-8の「景観形成への配慮を必要とするもの」について、アンケート回答の各理由は自由意見か、特に「緑化美化活動」が多く選ばれている理由が知りたい。

(事務局) ・ アンケートは過去に行った「ここに残る景観資源発掘プロジェクト」の選考プロセスとして、市内公共施設での「まちかど審査」の一般投票と併せて行ったもので、回答項目はあらかじめ事務局が設けた選択肢から回答いただいている。「まちかど審査」に来ていただける方は、景観に対する意識が高い方が多いと思うので、身近なところで「緑化美化活動」「自宅まわりをきれいに」といった項目の回答が多くなっているのではないかと感じている。

(会 長) ・ 「景観への配慮を必要とするもの」のグラフを見ると、「緑化美化活動」「歴史伝統」の次に高い項目は、「広告物」と「電柱電線」となっている。大事にした方がよいものとこれから改善した方がよいもの両方が上位に入っており、これは面白い点と思う。守っていくところと、これからつくって引っ張っていかないといけないところ、その両方を大事にしてほしいと捉えられるものと思う。

(委 員) ・ 直接景観に関係しないかもしれないし、参考になるかわからないが、和泉市の久保惣記念美術館が、和泉シティプラザ壁面に北斎の絵を描くなどアートという部分をひとつの切り口としている。岸和田市としてひとつの「特徴」、例えば久米田池を活かすのか、岸和田城を活かすのか、建物や山手の緑を切り口にするのか、何か一つメインとなる切り口を岸和田市が決めて、そこから枝葉を広げていって、景観や住んでよかった岸和田市というものをつくっていかばどうかなとも思う。

(委 員) ・ 外国人の知人が宿泊先から岸和田城までジョギングをしたという話を聞いて、例えば、景観

資源を使ったジョギングコースのマップを作ってみるなどどうか。あるいは、だんじり会館へ行くと外国人が多く来館しており、もちろん岸和田城にも行くと思うが、お城というのは、だんじりのほかにもひとつのポイントになると思っているので、観光面や市民の日常面で使えるようなものとして景観資源を使ったマップを考えてはどうかと思う。

- (事務局) ・参考にさせていただく。後ほど「景観施策の取り組み」において、まち歩きイベントの報告もあるが、景観資源を用いたマップ作りまではできていない。岸和田にはこれだけ多くの景観資源があるので、今後は来て見て回ってもらえるような、まち歩きやランニング、サイクリングなどのマップもできればと考えている。作る際には色々ご助言していただけるとありがたいが、またご相談させていただければと思う。
- (会 長) ・いろいろな意見が出たが、最後の話もハード面だけでなく、せっかくあるハードを活かしてソフト面のことも検討をという話であった。これからの施策にうまく繋がっていけばと思う。

■報告第2号「景観施策の取り組みについて」

景観施策の取り組みについて、事務局より説明。

【質疑応答】

- (委 員) ・錨モニユメントの管理について、防草シートの表面は土を盛った状態になっているのか。また、波形の表示板が汚れて廃れてしまうと見栄えが悪く、せっかく努力をされても寂しい感じになってしまうのではないかなと思う。管理について考えがあれば教えていただきたい。
- (事務局) ・錨モニユメントは、市内のライオンズクラブが記念事業で市に寄贈いただいたものであり、岸和田カンカンベイサイドモール裏の大阪府の親水緑地に設置されている。当初は雑草も茂り荒れ放題で落書きもされるなど色々困っていたが、きれいに手入れをして近くにいられた方に見てもらえるようにできたらという思いから、2年ほど前からシバザクラの植樹を始めている。最初は1、2列だったが、毎年少しずつ増やしていき、大分見ごたえのある状態になったと思う。防草シートは、敷地が広く全面シバザクラで覆うにはまだまだ時間がかかるので、少しでも雑草対策になればと除草したうえで敷設している。防草シートの上部を土で覆ってはいないが、風で捲れないよう、ピン留めし、重りを乗せている。まだ3ヶ月程度しか経っていないが、防草効果を発揮していると思う。波形の表示板については、裏面には錆も見られるが、表面はある程度見ていただける状態かと思う。人気（ひとけ）のない場所のため、落書きをされることもあったが、落書きを消して花を植えたことで、いたづらをされることもなくなり、そういう意味では取り組みをしてよかったと思う。
- (委 員) ・せっかくシバザクラできれいになっても、波形の表示板が汚れていることで雰囲気は損なわれないようにしていただければと思う。防草シートはシートが露出する状況が景観的にどうかという議論もある。緑色のシートとはいえ、露出する状況を改善するよう検討していただければと思う。
- (事務局) ・ゆくゆくは防草シート敷設面までシバザクラで覆うことを考えているため、長い目で見ていただければと思う。
- (委 員) ・景観出前講座は要望があって行くのか、それとも市側からアプローチして行くのか。
- (事務局) ・出前講座は生涯学習課の事業で、景観に限らず様々な講座を発信しており、それを見た団体等が申込み、各テーマを所管する部署の職員が講師として何うものであり、景観担当からアプローチして行ったわけではない。
- (委 員) ・アイデアとしては、例えば小中学校に出向いて景観講座の講師をすれば、岸和田の景観や活動のPRになるのではないかなと思う。
- (委 員) ・景観には自然や建物もあり、これらを維持していくには非常にひと・もの・お金が掛かると思うが、これをどのようにしていくのかということ。先日、錨モニユメント付近の公園緑地を見てきたが、一部は雑草が茂って、袋小路のところは人が入れず道だけあってほとんど雑草で覆われている。コストはかかるがシルバー人材センターによる手入れやイベントに活用しながらその費用を使って草刈りをやっていく方が、明るくなるのではないかな。岸和田カンカンベイサイドモールもテナントが減って寂しい雰囲気であり、公園含め、きれいにしていくとイベントなどに活用されるのではないかな。シバザクラのようにきれいなものを植えていくことも閉塞空間が明るくなり、非常に良いと思う。維持していく上ではコストがかかることも含め考えてもらいたい。
- (事務局) ・委員がおっしゃっていただいたこともそうだが、景観担当だけで行うのはなかなか難しいところもある。市役所には景観だけでなく、みどりや道路の部署もある。そういったところも定期的に管理をしていただいている。岸和田カンカン付近の雑草が茂っているという緑地に

については、大阪府港湾局が管理しており年2回程度除草作業をしている。季節的にすぐに雑草が茂る時期なので、委員が訪れたタイミングでは茂っていると感じられたものと思う。今後、市民の方や事業者の方などにもご協力いただけるような体制があればいいと思った。

(委 員)・普段の市役所としての業務もありながら行うのは大変かと思うが、例えば、景観資源 100 選冊子ができたということで、次の展開として、それにちなんだイベントや講演、勉強会などを年に1回でもしていけばどうかと思う。景観出前講座ともつながってくるかもしれないし、景観ではないが、知り合いに建築をテーマに出前講座をしている建築団体の人たちもあり、岸和田に滞在していることだけにこだわらず大阪府建築士会の面々も巻き込んでよいと思う。出前講座は人手がないとできないし、毎回プログラムを考えていると他の業務ができない。市民を巻き込むということだけでなく、元々こういうものに関心のある専門家集団にも働きかけて、人手やアイデアを確保しつつ取組みをしていけば、もっと岸和田に魅力を感じてくれる人が増えると思う。可能ならまたどこかの段階で、何か次の展開を考えていただければと思う。

(事務局)・次の展開を色々考えていく中では人手にも限界があり、まずはできることからやっていきたい。委員の提案にもあったとおり、景観資源を知ってもらうためのまち歩きマップや、それを使ったイベントなど次の展開も考えたい。岸和田市でも新たな情報発信の手段としてYouTubeの活用なども考えているが、我々だけではアイデアにも限界もあるので、またいいアイデアがあれば教えていただければ。

(会 長)・様々な取組みについて、単発でなく結び付けてとのご意見をたくさんいただいたので、次につながっていただければと思う。

■報告第3号「令和6年度年間スケジュールについて」

令和6年度年間スケジュールについて、事務局より説明

*質疑なし

■その他

(事務局)・次回の景観審議会が案件が決まり次第ご連絡します。よろしくお願いします。

以上